

第111期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日



カンボジアのつばさ橋を走るトラック

With Your Life

 **日本通運**
NIPPON EXPRESS

TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り
厚くお礼申し上げます。

第111期中間報告書をお届けするにあたり、
謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

渡邊 健二



当第2四半期のわが国経済は、内外需の低迷を背景に企業収益に足踏みがみられ、設備投資が伸び悩むなど、引き続き不透明な状況で推移いたしました。

また、海外経済においても、総じて停滞基調のなか、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化や英国のEU離脱問題など様々なリスクが混在する状況で推移いたしました。

このような経済情勢のなか、物流業界におきまして、国内貨物は、天候不順による農産物への影響や個人消費の伸び悩みなどから荷動きの低迷が続き、国際貨物では、円高や海外経済の減速により輸出貨

物が減少するなど、総じて低調に推移いたしました。

日通グループは、このような経営環境のなか、2016年4月より新経営計画「日通グループ経営計画2018-新・世界日通。」を策定し、「エリア戦略」と「機能戦略」を確実に実行することで、成長性と収益性をさらに向上させ、利益にこだわるグループ経営の実現に向け、新しいスタートを切りました。

具体的には、国内において、陸・海・空の組織の一体化により、ワンストップ・アカウント営業体制が整備されたことから、フォーワーディングと国内倉庫配送業務を組み合わせた物流提案など当社の総合力を

活かした営業拡販により、新規業務の獲得に取り組んでまいりました。

また海外では、物流需要の伸長が見込まれる南アジアを中心に経営資源を集中的に投下し、事業を総括する拠点の整備や非日系グローバル企業への対応強化など、海外事業のさらなる拡大に向け、組織力の強化に努めてまいりました。

この結果、第111期第2四半期連結経営成績につきましては、

売上高は **9,092**億円(前年同期比 4.6%減)
営業利益は **244**億円(前年同期比 5.8%増)
経常利益は **281**億円(前年同期比 1.8%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益は **182**億円(前年同期比 20.3%増)

となりました。

なお、第111期中間配当金につきましては、さる10月31日開催の取締役会において、普通株式1株につき5円とし、支払開始日を本年12月2日とすることを決定させていただきました。

当下半期の経済動向につきまして、国内では、引き続き景気は力強さを欠くものの、底堅い企業収益や人手不足を背景に雇用・所得環境の改善が期待され

ております。一方、海外では、長引く低成長に加え、各国における内向き志向の政策の展開や改革の停滞によって世界経済は不確実性を強めており、総じて不透明な状況で推移すると予測されております。

物流業界におきましては、国内貨物が消費関連貨物などを中心に緩慢な荷動きにとどまり、国際貨物は、欧州向け輸出貨物が減少するなど、引き続き低調に推移すると見込まれるなか、産業活動を支える効率的な物流の実現に向けた物流の自動化への対応や荷主と物流事業者のパートナーシップの強化など、様々な課題に直面しております。

私たち日本通運グループは、創業以来、ものを運ぶことを通して、人・企業・地域を結び、社会の発展を支えてまいりました。この変わらぬ使命を果たすため、社会の変化をとらえ、自らを進化させ続けます。安全に徹し、環境に配慮し、世界を舞台にすべての力を結集して、物流から新たな価値を創造することに挑戦し、いつの時代にも、社会から求められ、信頼されることを誇りに行動してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも日通グループへのあたたかいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

日通 JUST NOW!

この半年間の
動きを
CHECK!



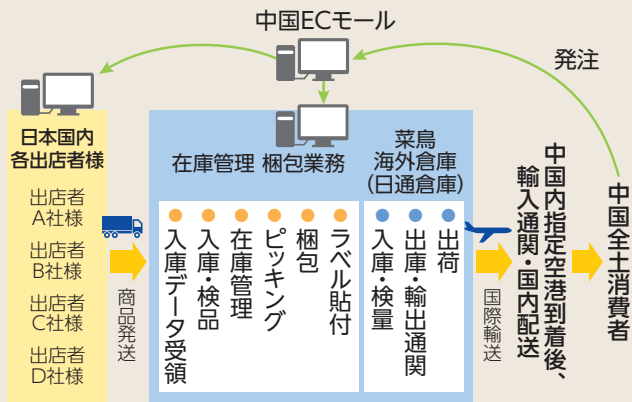
TOPICS 1

拡大する中国向け越境ECビジネスをサポート アリババグループと業務提携しオフィシャル・ロジスティクスパートナーに

当社は、中国ECモール最大手の阿里巴巴集団(アリババグループ)と業務提携し、8月から同グループの越境ECサイト「T-MALL国際(天猫国際)」出店者への物流サービスの提供を本格的に開始いたしました。

これは、昨年9月に同グループの「ビッグデータ物流プラットフォーム企業」である菜鸟網絡(ツァイニャオネットワーク)と国際輸送に関する業務提携契約を締結し、梱包・出荷・輸出入業務等を行った実績が評価されたものです。

2019年には日本の出店者からの購入金額が2015年の2.94倍となる2.3兆円を超えると予想される中国の越境EC市場において、当社の豊富な輸送能力とノウハウを活用し、スピーディーかつシームレスな物流サービスを提供してまいります。



 日本通運
NIPPON EXPRESS

TOPICS 2

第31回全国フォークリフト運転競技大会で優勝

9月25日に陸上貨物運転事業労働災害防止協会が主催する第31回全国フォークリフト運転競技大会において、各都道府県の予選大会を勝ち抜いてきた総勢55名の出場者が、学科・点検・運転の3種目でフォークリフトオペレーター日本一を競い合いました。その中で当社グループは、優勝、準優勝をはじめ4名が入賞いたしました。



競技中の様子



入賞した選手の皆さん

TOPICS 3

メキシコ日通、「アグアスカリエンテス・ロジスティクスセンター」を開設

メキシコ中高原に位置するアグアスカリエンテス州では、現在日系完成車メーカーをはじめ、多数の自動車関連企業が進出しており、より高度なロジスティクスへの需要が高まっています。

これを受け、メキシコ日本通運株式会社は、「アグアスカリエンテス・ロジスティクスセンター」を開設し、9月より営業を開始いたしました。

同センターは、国際空港から10kmの「FINSA工業団地」に位置しており、高品質・高機能な製品供給拠点および流通加工拠点として、あらゆる物流ニーズに対応することが可能です。



その他のトピックス

2016.4.1 - 2016.9.30

▶ 2016.04

国内海上輸送で「東京～北海道」間に新造船2隻を2017年に投入

『ひまわり8』（総トン数10,620t）が2017年9月に、『ひまわり9』（総トン数10,620t）が2017年12月にそれぞれ就航予定。

▶ 2016.05

「コンテナラウンドユース」、物流環境特別賞を受賞

事業者間の輸送需要をマッチングさせ、コンテナラウンドユースを推進。空コンテナ輸送の解消により、環境負荷軽減に貢献したことが評価され受賞。

▶ 2016.06

シンガポールに新会社「NEX グローバルエンジニアリング株式会社」を設立

海外の重量品輸送・各種プラント事業を総括する拠点として、特に需要が増加する東南アジアでのニーズにワンストップで対応。

▶ 2016.07

エコシップ・モーダルシフト事業者選定委員会から「国土交通省海事局長表彰」を受賞

地球環境にやさしい海上貨物輸送を積極的に利用し、環境対策に貢献したことを評価され受賞。

▶ 2016.09

10周年を迎えた「日通の森」森林育成活動

地域に根差した社会貢献の取組みとして、山形県飯豊町の「日通の森」にて、従業員やその家族など82名が参加し、秋の森林育成活動を実施。

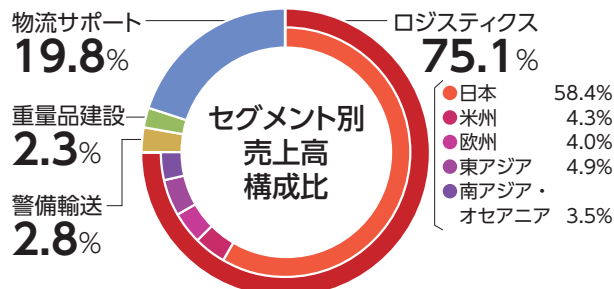
より詳細な情報は当社HPの
ニュースリリースをご覧ください。

<http://www.nittsu.co.jp/press/>



連結業績ハイライト (2017年3月期 第2四半期累計期間)

	2017年3月期 第2四半期累計期間	通期予想
売上高	9,092億円	1兆8,440億円
営業利益	244億円	570億円
経常利益	281億円	630億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	182億円	360億円

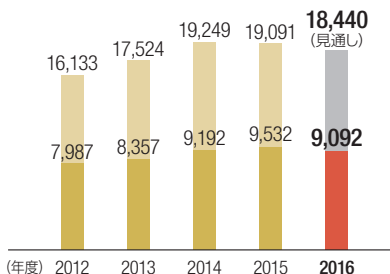


※グラフの比率は調整額を除いて作図しております。

売上高

(単位:億円)

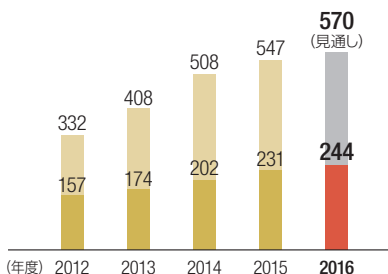
■ 第2四半期(累計) ■ 通期



営業利益

(単位:億円)

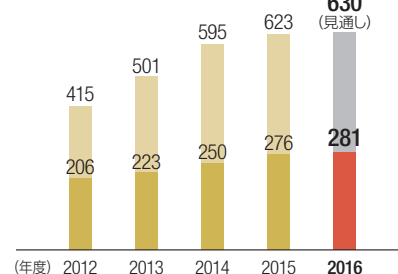
■ 第2四半期(累計) ■ 通期



経常利益

(単位:億円)

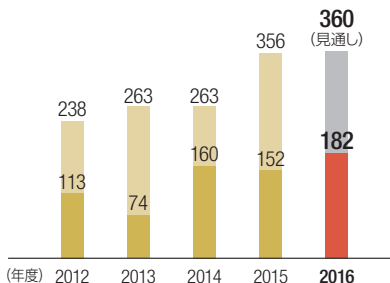
■ 第2四半期(累計) ■ 通期



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:億円)

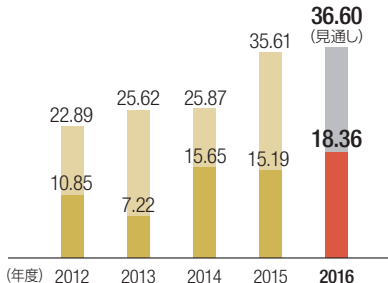
■ 第2四半期(累計) ■ 通期



1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)

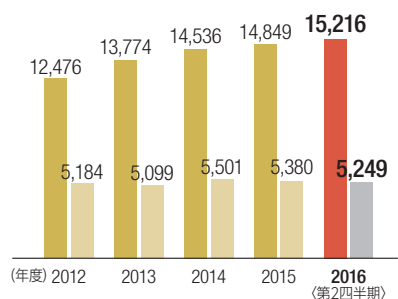
■ 第2四半期(累計) ■ 通期



総資産・純資産

(単位:億円)

■ 総資産 ■ 純資産



セグメント別の状況 (2017年3月期 第2四半期累計期間)

		当第2四半期(百万円)	前第2四半期(百万円)	増減率(%)
ロジスティクス	日本	売上高 566,292 セグメント利益 16,487	573,174 14,321	△1.2 15.1
	米州	売上高 41,919 セグメント利益 2,430	48,295 2,732	△13.2 △11.0
	欧州	売上高 39,123 セグメント利益 855	41,039 699	△4.7 22.3
	東アジア	売上高 47,648 セグメント利益 597	57,467 581	△17.1 2.8
	南アジア・オセアニア	売上高 34,138 セグメント利益 1,118	36,795 861	△7.2 29.8
警備輸送	売上高 27,428 セグメント利益 447	27,208 733	0.8 △39.0	
重量品建設	売上高 22,253 セグメント利益 1,774	27,517 1,623	△19.1 9.3	
物流サポート	売上高 192,032 セグメント利益 3,370	207,249 4,039	△7.3 △16.6	
調整額	売上高 △61,557 セグメント利益 △2,628	△65,523 △2,471	— —	
合計	売上高 909,278 セグメント利益 24,452	953,224 23,120	△4.6 5.8	

日通グループ経営計画2018

《2016年4月1日 - 2019年3月31日》

—新・世界日通。—

本経営計画では、重点戦略として、縦軸に面としての「エリア戦略」を、横軸に強化・変革の対象としての「機能戦略」を展開し、注力する事業領域と成長地域へのBtoBに特化した集中投資を行い、利益にこだわるグループ経営を推進してまいります。



京都鉄道博物館に 新幹線を運ぶ

段取り八分の精神「運べないものは、ない。」

2016年4月29日、京都に日本最大級の鉄道博物館がオープンし、現在では鉄道ファンのみならず大勢の見学者が訪れる人気スポットとなっています。中でも日本の近代化を支えてきた貴重な車両の展示コーナーが人気を集めています。その展示車両の輸送の一部を当社の神戸重機建設支店が担当いたしました。

業務の受注を受け、0系新幹線4両、100系新幹線および500系新幹線各1両の輸送プロジェクトチームが結成されました。吉岡貴士係長率いるプロジェクトチームは当社で長年培われてきた段取り八分の精神のもと、綿密な

計画を立て、輸送に臨み、0系新幹線は大阪市内から、100系新幹線および500系新幹線は博多港から神戸港まで海上輸送されたのち、それぞれ京都鉄道博物館に向け陸上輸送されました。

輸送は、夜間から翌朝にかけて一晩に1両ずつ実施されましたが、0系新幹線については、万全を期すため二晩をかけ輸送されました。交通量の多い道路や車幅ギリギリのせまい道路などの様々な難所を当社の経験と技術に裏打ちされた匠の技で乗り越え、無事輸送を完了いたしました。

担当日通マンの声

計画・準備を万全にし、 お客様に満足していただける サービスの提供を心がけています。



日本通運株式会社
関西重機建設支店
(当時：神戸重機建設支店所属)

吉岡 貴士 (係長)
業務経験年数：12年

今回、作業の決定から輸送開始までの限られた日数の中で、輸送経路の下見から計画書の作成、許認可の取得など多忙な日々を送りました。社会的に注目される仕事に携わることができる嬉しさと絶対に失敗できないというプレッシャーのなか、緊張感を持って業務に取り組みました。

輸送に関しては、「日通だからできる」という社会やお客様からの期待に応えられるよう、段取り八分の精神で計画・準備をしっかり行い、万全の状態で作業に臨むことで、お客様に満足していただけるサービスを提供したいと心がけています。

また、今回の作業を次の仕事に活かすことができるのが当社の強みであると思います。技術を、経験を、しっかりと未来につなぎ、「運べないものは、ない。」と、社会から求められ、信頼される存在になれるよう今後も頑張りたいと思います。



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	当第2四半期末 2016年9月30日現在
資産の部	
流動資産	718,968
現金及び預金	244,556
受取手形	22,937
売掛金	275,887
たな卸資産	6,317
その他	170,543
貸倒引当金	△ 1,274
固定資産	802,724
有形固定資産	511,416
車両運搬具(純額)	24,725
建物(純額)	226,745
土地	178,630
その他(純額)	81,315
無形固定資産	126,928
のれん	48,642
その他	78,285
投資その他の資産	164,380
投資有価証券	106,637
その他	58,569
貸倒引当金	△ 827
資産合計	1,521,693

区 分	当第2四半期末 2016年9月30日現在
負債の部	
流動負債	419,621
支払手形	5,290
買掛金	137,092
短期借入金	55,121
未払法人税等	13,276
賞与引当金	22,130
その他の引当金	820
その他	185,889
固定負債	577,159
社債	145,000
長期借入金	236,146
その他の引当金	2,119
退職給付に係る負債	157,199
その他	36,693
負債合計	996,780
純資産の部	
株主資本	525,028
資本金	70,175
資本剰余金	25,346
利益剰余金	457,839
自己株式	△ 28,333
その他の包括利益累計額	△ 16,219
その他有価証券評価差額金	44,327
繰延ヘッジ損益	△ 376
為替換算調整勘定	△ 10,963
退職給付に係る調整累計額	△ 49,207
非支配株主持分	16,102
純資産合計	524,912
負債純資産合計	1,521,693

※記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	当第2四半期(累計) 2016年4月1日～ 2016年9月30日
売上高	909,278
売上原価	831,745
売上総利益	77,532
販売費及び一般管理費	53,080
営業利益	24,452
営業外収益	6,789
受取利息	216
受取配当金	1,730
持分法による投資利益	1,031
その他	3,809
営業外費用	3,078
支払利息	1,729
その他	1,349
経常利益	28,163
特別利益	5,262
固定資産売却益	2,869
投資有価証券売却益	65
段階取得に係る差益	2,291
その他	36
特別損失	3,227
固定資産処分損	1,038
災害による損失	854
退職給付制度移行損失	679
その他	655
税金等調整前四半期純利益	30,198
法人税等	11,709
四半期純利益	18,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,292

※記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

区 分	当第2四半期(累計) 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 33,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7,907
現金及び現金同等物の増減額	54,667
現金及び現金同等物の期首残高	146,007
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	740
現金及び現金同等物の四半期末残高	201,415

※記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは459億円の収入となり、前年同四半期に比べ341億円収入が増加しました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益による収入が増加したこと及び仕入債務の増減額による支出が減少したこと等によるものです。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは335億円の支出となり、前年同四半期に比べ153億円支出が増加しました。その主な要因は、固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものです。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは501億円の収入となり、前年同四半期に比べ678億円収入が増加しました。その主な要因は、社債の発行による収入が増加したこと等によるものです。

より詳細な業績の情報は、当社のIRサイト

<http://www.nittsu.co.jp/ir/>

をご覧ください。

日本通運 IR

会社の概況

(2016年9月30日現在)

役員

取締役

代表取締役会長



川合 正矩

代表取締役社長 社長執行役員



渡邊 健二

代表取締役副社長 副社長執行役員



大日向 明



齋藤 充



伊藤 豊

取締役 専務執行役員



石井 孝明

取締役 常務執行役員



島内 技



竹津 久雄



寺井 克宏

取締役 執行役員



佐久間 文彦



秋田 進



林田 直也

取締役



杉山 雅洋



中山 慈夫



安岡 定子

※取締役 杉山 雅洋、中山 慈夫および安岡 定子の各氏は社外取締役です。

監査役

常勤監査役



和田 貴志



今野 洋美



鈴木 達也

※ 監査役 今野 洋美、野尻 俊明および青木 良夫の各氏は社外監査役です。

監査役



野尻 俊明



青木 良夫

執行役員

常務執行役員 後藤 康弘

常務執行役員 村上 浩之

常務執行役員 横尾 行雄

常務執行役員 小淵 雄二

常務執行役員 高橋 康紀

常務執行役員 近藤 晃

常務執行役員 井手 憲文

執行役員 田中 和志

執行役員 青山 陽一

執行役員 杉山 龍雄

執行役員 中村 栄一

執行役員 小林 弘一

執行役員 植松 満

執行役員 吉岡 英

執行役員 内田 敏朗

執行役員 堀切 智

執行役員 池田 誠

執行役員 佐藤 武司

執行役員 宮脇 一郎

会社概要

会社名 日本通運株式会社
(NIPPON EXPRESS CO.,LTD.)

設立 1937年10月1日

資本金 701億75百万円

従業員数 32,668名

本社 〒105-8322
東京都港区東新橋一丁目9番3号
TEL.03-6251-1111
<http://www.nittsu.co.jp/>

連結子会社および持分法適用会社

連結子会社 269社
持分法適用会社 25社

株式関連情報

(2016年9月30日現在)

株式の状況

株式数	発行可能株式総数	3,988,000,000株
	発行済株式の総数	1,038,000,000株
株主数	60,205名	

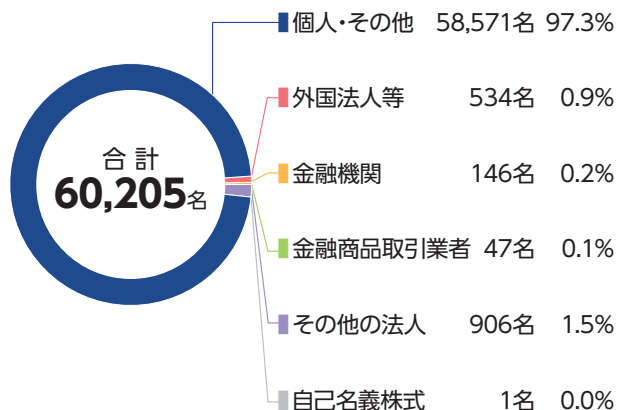
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	85,024	8.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	79,933	8.1
朝日生命保険相互会社	56,019	5.7
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	50,967	5.2
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社	41,500	4.2
日通株式貯蓄会	35,459	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,316	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	17,501	1.8
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	12,622	1.3
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	11,364	1.2

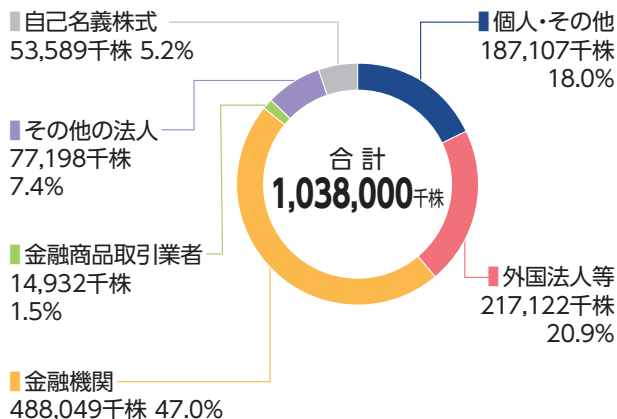
※当社は、自己株式53,589千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

所有者別株式の分布状況

〈株主数および比率〉



〈株式数および比率〉



単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

1,000株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 600株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求

1,000株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 600株を保有の場合、400株を買い増して、1,000株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
- ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行
(※下記までお問い合わせください。)

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-232-711

☎ 0120-244-479(用紙ご請求専用)

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては
当社ホームページでも
ご案内しております。

<http://www.nittsu.co.jp/ir/stock-info/procedure/>

日本通運 株式諸手続き

検索



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から
翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 1,000株

上場取引所 東京

証券コード 9062

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

(同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711

公告方法 電子公告
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス
<http://www.nittsu.co.jp/>

運べないものはない。

熱帯の地で、
1100tの巨大機器を運べ。



それは、ベトナム最大の
石油製油所をつくる一大プロジェクト。
重さ1100tのプラントを、
高さ110mのクレーンで運ぶ。
そのたった一瞬のために、
数千時間という膨大な時間を、
準備にかける。
ミスの許されない現場で培われた
緻密な技術は、
世界の重機建設の現場にも生きている。

その想いを胸に、
今日も運び続ける。

それが、日通品質。



日本通運 重機建設事業部



〒105-8322 東京都港区東新橋一丁目9番3号
TEL: 03-6251-1111
URL: <http://www.nittsu.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。